
パネルディスカッション等の 理解醸成の取組について

パネルディスカッションの実施状況

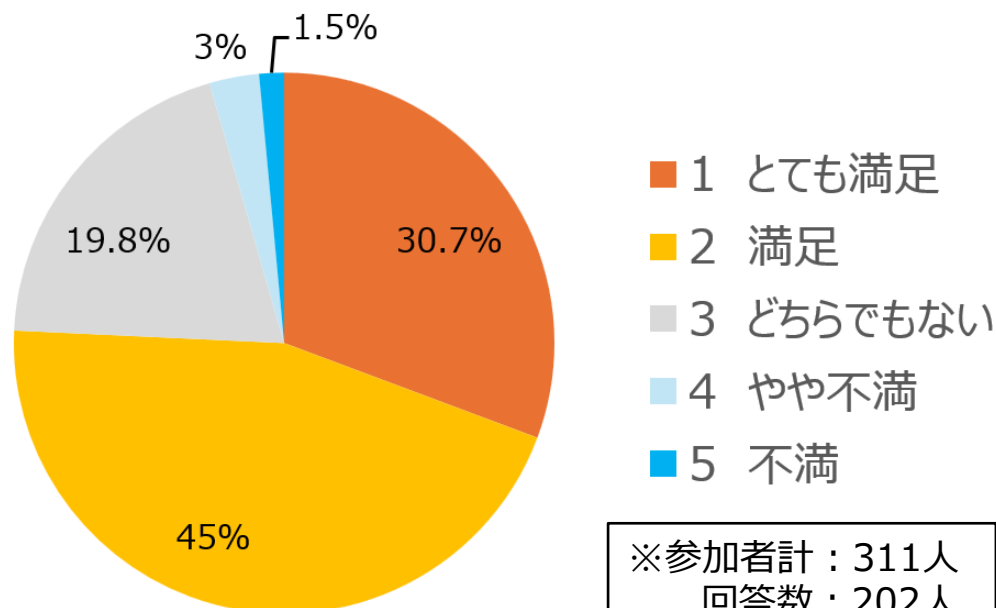
- 福島県内除去土壌等の県外最終処分の実現に向けた、理解醸成活動の一環として、除去土壌等の県外最終処分・復興再生利用についてともに考え、**理解を深めるためのパネルディスカッションを計7回実施。**
(福島開催：2025/8/18 東京開催：2025/9/5、6 宮城開催：2026/3/15
埼玉開催：2026/3/18 秋田開催：2026/7/16 愛知開催：2026/7/23)
- **参加者から申込フォームや付箋で募集した疑問や意見を中心に**、パネリスト間の議論のテーマを設定。

<参加者の満足度アンケート（全7回合計）>

<2026/7/16（秋田開催）の様子>



○パネリスト：学識経験者、秋田県出身のタレント、福島の方、環境省



復興再生利用を施工した花壇を用いた情報発信

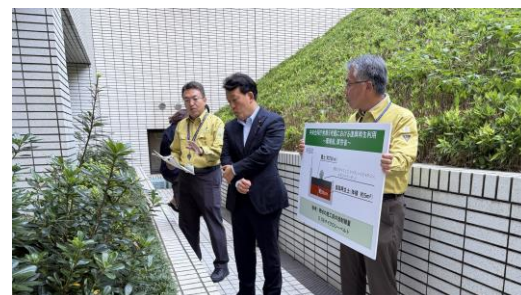
- 環境省のウェブページにおいてこれまでに実施した復興再生利用の概要やモニタリングデータを掲載。
- さらに、来庁者に対し、花壇等の利用現場を活用し、復興再生利用の必要性や安全性について、2025年3月に定めた基準等を踏まえ、科学的根拠に基づき説明。政務三役の視察などによる発信も実施。
環境省では、これまでに、こども霞が関見学デー等のイベントの機会も捉え、首長も含む700名以上に説明を実施。
- 関係省庁においてもこれらの取組を実施するとともに、必要に応じて説明者を派遣するなどの連携も実施。政府一丸となって、国民の理解醸成の取組を進めている。



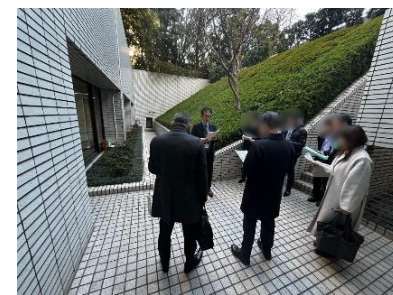
環境省
ウェブページ



パネル



大臣等による視察



来庁者への説明

その他国内向けの発信

- 除去土壌等の県外最終処分・復興再生利用の実施に当たっては、その安全性・必要性等について、2025年3月に定めた基準等を踏まえ、科学的根拠に基づき分かりやすく説明するとともに、全国民的な理解醸成が必要不可欠。
- 若い世代向けの理解醸成（大学等での講義、現地WS等）、現地見学会、メディアとのタイアップによる情報発信、復興再生利用の理解醸成に向けたイベント等での情報発信を始めとした各種取組を展開中。
- 今年度は特に、自治体・メディア等への情報発信を更に進める等により、理解醸成の取組を強化。

若い世代向けの取組

大学等での講義



万博でのブース出展



現場見学

中間貯蔵施設や飯館村長泥地区の
実証事業エリアを対象とした
現地見学会を開催
中間貯蔵施設 現地視察



一般見学会

再生利用実証事業 現地視察



一般見学会

メディアとのタイアップ等による情報発信

YouTubeメディアタイアップ



YouTubeや公共交通機関への
CM発出



地方テレビ局と連携した情報発信



イベント等での情報発信

